

○主な課題と対策

課題1 病院や福祉施設などでの集団感染事例が依然として発生している

- 対策 ①重症化リスクの高い療養病床を有する医療機関や入所型高齢者施設・障がい者施設におけるスタッフに対する予防的 PCR 検査等の実施を支援することで、早期発見による感染まん延防止を推進する取組を実施していく。
- ②市内全ての病院（200施設）を対象に2月17日、2月24日の2回、クラスターへの対応やゾーニングの手法などの実践的な内容をテーマにしたオンラインセミナーを開催し、クラスターへの対応強化を図っている。

課題2 3・4月における人の移動が増えることで感染が拡大する可能性がある

- 対策 ①会食・飲食時における感染防止対策として飲食店約6,000店にポスターを配布するなど、広く感染予防を啓発していく。
- ②市民に対し北海道スタイルや黙食（食事は4人以内、大声を出さないなど）を実践するよう普及啓発を行っていく。

課題3 変異株検査の検査体制を整備していく必要がある

- 対策 ①市中の変異株を把握するために、陽性検体の中からスクリーニング検査を市衛生研究所において実施していく。

課題4 感染者や関係者、医療従事者等への差別や中傷、デマといったものが全国各地で報告され社会問題化してきている

- 対策 ①市民の声を聴く課や区の広聴窓口、コールセンター、人権相談窓口などの相談体制を整えて、困りごと等があれば相談するよう呼び掛けている。
- ②医療従事者応援プロジェクトとして、医療従事者への感謝の気持ちを伝えるブルーライトアップや、市民からの応援メッセージを募集し医療従事者に届けるといった取組などを通じて、互いに思いやる気持ちの醸成を図っている。

課題5 接待を伴う飲食店などのクラスターは減少しているが、根絶に向けてさらなる対策を必要としている

- 対策 ①課題2の対策と併せて、新たな流行の発生源とならないように、クラスター対策として繁華街における予防的・定期的なPCR検査を実施していく。

課題6 コロナ対応の拠点となる入院受入医療機関では、退院できる患者の受入病院として、後方支援病院の確保が必要とされている

- 対策 ①補助金等の活用について周知を行い、後方支援病院の確保に努めている。

課題7 ワクチンの接種体制を整備していく必要がある

- 対策 ①ワクチンを専門に担当する部署や相談対応用のコールセンターを新たに設置し、ワクチン接種体制の強化を図っている。
- ②医療機関や関係団体と連携しながら、国の示すスケジュールを目標とし準備を進めている。